

平成26年度 不祥事ゼロプログラム検証結果

1 目標及び行動計画と実施状況

(1) 公務外非行

目標 教育公務員であることの自覚を持ち、コンプライアンス（法令遵守）への認識を深める。	
行動計画	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部講師による薬物防止研修会を実施する。</li> <li>○職場啓発資料や職員行動指針等を活用した日常的な意識啓発に努め、また、職場研修を実施する。</li> <li>○校長は平成27年3月までにすべての職員との面談を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○11月に泉警察署の生活安全課を講師に薬物防止の研修会を実施、職員の意識向上に役立てた。</li> <li>○事故防止会議等を通じて日常的問題意識を喚起し、公務外非行を防ぐことができた。</li> <li>○校長による面談を実施し、教育公務員としての自覚を促した。</li> </ul>

(2) セクハラ・わいせつ行為【必須事項】

目標 人権意識の向上によるセクハラ、わいせつ行為の未然防止に努める。	
行動計画	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権研修会や行内研修等を通じて、意識向上を図る。</li> <li>○気になった発言等があればお互いに注意できる職場環境をつくる。</li> <li>○校長は平成27年3月までにすべての職員との面談を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9月に「ホームレスの人たちの人権」をテーマに実施した。</li> <li>○セクハラ・パワハラに関する啓発資料を配布し、意識の啓発に努めた。</li> <li>○問題になる発言の例を示しながら、具体的事例にもとづいて注意喚起を行った。</li> </ul>

(3) 体罰、不適切な指導の防止

目標 生徒に対する不適切な指導、体罰の禁止。不適切発言の防止。	
行動計画	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○体罰防止に関する校内研修を実施する。</li> <li>○校長は平成27年3月までにすべての職員との面談を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9月、11月、1月に体罰防止研修（校内講師）を実施し、体罰の未然防止に役立てた。</li> <li>○面談を行い、体罰や不適切な指導がないことを確認した。</li> </ul>

(4) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

目標 生徒の名票、出席統計、テスト、成績等について、不適切な校外持ち出しを行わない。	
行動計画	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の個人情報保管場所の確保や速やかな入力、点検を行う。</li> <li>○情報を整理し、要不要を確認し取捨選択する。机の周りの整理整頓。</li> <li>○情報の持ち帰り届出とその管理責任の自覚を徹底する。</li> <li>○封筒の宛名書き、封入作業における複数職員による確認を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報の管理の徹底と適切な廃棄を行った。</li> <li>○管理職から職員へ机上の整理を行うように声かけを行った。</li> <li>○個人情報の持ち出しの届出を徹底し、その際の管理ミスを防止した。</li> <li>○進路関係の書類等、宛名の確認等を徹底し、個人情報の漏えいを防止した。</li> </ul>

(5) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標 教育公務員としての自覚を強く持ち、事故防止に努める。	
行動計画	実施状況
○啓発資料や職員行動指針を活用した日常的な意識啓発に努め、また、職場研修を実施する。	○職員の交通事故の抑制に対する意識も高まり、自覚を喚起できた。

(6) 調査書、通知書の作成、成績処理に係る事故防止

目標 調査書・通知書や生徒指導要録の作成、成績処理等の事故を防止する。	
行動計画	実施状況
○履修状況の確認、日常的な出席入力の的確化を図る。 ○点検計画に沿った点検体制を確立する。	○日常的な生徒観察を通して、出席状況を的確に把握し、記録した。 ○マニュアルに沿って、全職員で成績処理等の点検を行い、事故防止に努めた。

(7) 横浜緑園総合高等学校独自課題 入選業務における事故防止

目標 入学者選抜における事故防止	
行動計画	実施状況
○入学者選抜における入力ミスや採点ミスを防止する。 ○入選業務における作業手順を徹底する。 ○入選関係書類作成について複数チェックを確実に履行する。	○複数の職員が複数回の点検を行うことで、入力ミスや採点ミスを防止した。 ○組織的な点検作業をマニュアルに沿って進めた。

## II 検証・自己評価

### 中間検証結果

- ・6月には調査書発行、9月には体罰防止、7月には個人情報管理をテーマに研修会を実施し、一定の成果をあげることができた。

## III 最終検証結果

### 今年度の成果について

- ・体罰防止に関する研修は中間検証後も実施し、その防止に力を入れた。また、成績処理や入試選抜業務、飲酒など公務外非行の防止などは時機をみて、管理職から注意喚起を行った。
- ・教育委員会から提供された啓発資料も有効に活用し、職員の事故防止への意識の向上に努めた。

### 今後の課題について

- ・校内研修会をさらに充実し、職員自ら講師となって事故防止に係る研修を実施することで、更なる事故・不祥事防止に向けた意識の向上をはかる。